



「人として生きていくための勇気と自信を培うサポート活動」

「40歳くらいまでのひきこもり経験者・不登校・学校中退・対人不安・心理面サポートを必要とされる方への居場所提供・フリースクール活動・個別指導学習サポート・家庭教師・家庭訪問・カウンセリング面談・各種相談活動」

「スキルを身に着ける作業をする意味」

小、中、高……まあ、大学も、学力が求められるので、当人も周りの者も学力を向上させることに注意をはらいがちになる。

評価の基準が学力なので、仕方の無いこと……というか、そこに注意が向くのが自然なことではある。

心理臨床の現場と係わりをもっていると、様々なしんどさを抱えた人と出会うことになる。

授業中にじっと座ってられない小学生とか、国語で朗読がじょうずにできないとか、漢字の書き取りがいくら練習してもできないとか、算数の計算ができないとか……そういうしんどさを抱えている子のお母さんは「どうしたらちゃんと勉強ができるようになるか」という方法を知りたい、見つけたいと希望しておられることが多い……

毎日学校に通ってしんどさを感じている我が子の姿をみていると、そういう思いを持つことは当然だろう。

最近になって「発達障害」「自閉スペクトラム症 (ASD)」「学習障害 (LD)」「注意欠如・多動症 (ADHD)」というコトバが一般の耳に入るようになり、学校の先生も「そういう子が居る」という知識を持つようになってきている。

そのため授業の進め方に工夫がされたり、教室の環境を整えるなどの配慮がされるようになってきてはいる。

30年ほど前の状況と比べると格段に環境や対応が良くなっている。

それでもしんどさが十分に解消されてはいないし、逆にその環境や対応が当

人以外の人 (先生やクラスの子) にしんどさを感じさせる事態が生じることもある……非常に悩ましい問題であり、簡単に解決できそうにない事象として今後も試行錯誤が繰り返されることになるだろうと思える。

最近では電子機器が急速な発展をしていて、AIによるサポート能力も高まってきているので、読み方が分かれば漢字の形 (デザイン) を自力で再現できなくても表示してくれるし、計算に関してはいつでも前から数字と演算記号の入力ができれば答えを表示してくれる。

それらを活用すれば「学力に関するしんどさ」はそうとうに軽減することができる。

人の話は理解できるのに本に記述されている話を読もうとしても理解できないというしんどさを抱えている人も居る。これも「OCR (光学的文字認識)」と「文章読み上げ」の機能を利用すれば、「人の話」と同じように、本の内容を音声で語りかけてくれるようにすることができる。現状、小型化はされていないが、パソコンではそれほど特殊なシステムでは無くなっている。

学習に関してしんどさを抱えている人が、学校で電子機器のサポートを使うことが (一部ではあるが) 認められている学校も存在し始めている。

それでも、学力向上のために練習を繰り返す努力をする作業は止めてはいけないと思う。

ただ、なぜそういうことが必要かという理由として、注目するポイントは「努

力が結果として学力向上という成果を得た（か、どうか）」という点では無く、「面倒くさがらずにコツコツ努力を続ける姿勢を身に着けた（か、どうか）」という点なのだと思う。

学力向上という枠組みがあると、「成果（結果）」を判断基準にしてしまうことになるが、「努力する姿勢の獲得」という課題と考えると、「過程（経過）」として充実していたかどうかの方が課題達成基準の判断の基準となるはずなのだ。

適当にダラダラと同じ事を繰り返して、一定量をこなした時に、「ある学習スキルが身についた」という場合、「学力向上で成果を得た」という基準はクリアしているのだが、これでは「努力する姿勢を身に着ける」という基準はクリアしていない。もちろん「努力する姿勢を身に着ける」という課題をクリアするための経験の積み方には、他に多様なスタイルが考えられるが、「学力向上のために練習を繰り返す努力をする作業」は「学校という環境」の中ですすでに行われている道具立てを活用するという点では活用しやすいと考える。

自分に合った生き方を獲得するというスキルを身に着けるとするのは長期的な作業になると思える。

そこで必要なのは「努力する姿勢を獲得する」ということが主流で「学力」「知識」は補助的な役割をするものとなるのでは無いだろうか……。

（高石 公資）

機関紙をリニューアルいたします

2002年のNPO開始以来、活動報告・次月予定・スタッフや心理士の先生のコラムなどで構成し皆様に読んでいただいていた「KSCE通信」のリニューアルを予定しておており、現在作業をしています。詳細はまだ未定ですが大きくは下記の方向で予定しています。

「KSCE通信」・・・リニューアル後は2ヶ月に1回の刊行として、活動報告と心理士の先生または代表のコラム、お知らせ等で構成いたします。

「ゆっ歩」・・・「ゆっぽ」と読みます。ゆっくりでもいいから歩を進めていきましょう、という思いからこの名称になりました。新規機関紙として発行予定です。イベント・活動予定・お知らせで構成する予定です。こちらは毎月の発行予定です。

「歩」プロジェクト 実施中

フリースクール活動（集い場○活動とアポロ活動を合わせて名称リニューアルし、実施しています）

体操・ものづくり以外は事前申込必要。記述のないものは前運営日18時までです。

☆ 定期的実施サークル活動（旧 集い場○）

1. 健康体操教室 毎月第3水曜日 14時半～15時半 参加費無料
2. ものづくりかふえ 毎月第3金曜日 15時～16時半 参加費無料
3. 学食 walk ミーティング実施→実際の活動 で行っています。参加費
ミーティング参加は無料 実施日 内部生100円 その他300円（ミーティング参加者は100円引）別途実費必要です。

4. 出かけよう（仮・名称考察中 旧 散策部とレクリエーション部の合併したもの）参加費 内部生100円 その他300円 ミーティング参加者は100円引）別途実費必要です。
5. 体を動かそう（仮・名称考察中 新規サークル）参加費 内部生100円 その他300円 別途実費必要です。
6. パレット河原町商店街清掃参加 毎月第2金曜日9時半～10時半 参加費無料

☆ 不定期実施活動

こちらは社会活動・他団体参加・イベント参加などの定期実施以外のフリースクール活動です。

6月はまだ未定です。7月には祇園祭に出かける予定です。8月は京の七夕・五山送り火を予定しています。

活動予定は機関紙に掲載されていないもの（発行後に決まったもの）は当所ブログ・フェイスブックページ・Twitter・当所事務所内掲示にて告知いたします。

ボランティアスタッフ・イベント実施日お手伝いスタッフ募集中

月曜日「事務作業系統のお手伝い」

火曜日～土曜日「フリースペースでの話し相手・遊び相手」と「イベント実施時の運営手伝い」

日曜日「イベント実施時の運営手伝い」

オプション 利用者や保護者の面談・相談・訪問活動対応（一定期間後のこの活動希望者）

学習サポート 小学生内容～大学受験・高認受験・発達障がい等向け生活に即した学習・支援学校対策などの活動もあります。

20歳以上45歳くらいまで

曜日固定の有無は問わず月4日以上くらい活動可能な方

まずは見学にお越しください。詳細を説明させていただきます。

075-211-0750 syomu@ksce.jp.n.org まで（担当：南山）

編集後記

当所事務パソコントラブルもあって機関紙のリニューアルが遅れております。大変申し訳ございません。私的には、最近夏並の暑さの日も出てきて温度差を含めてバテ気味になっています。皆様も体調お気をつけくださいね。（南山 勝宣）

2018年6月

日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	
3 (歩)でかけよう	FS 休	4	5	6	7 (歩)学食・出 かけようミーテ ィング	8 レク日	9
10 お休み	FS 休	11	12	13 レク日	14	15 (歩)ものづくり かふえ	16
17 (歩)体を動かそ う	FS 休	18	19	20 (歩)健康体操教 室	21	22 レク日	23
24 お休み	FS 休	25	26	27 レク日	28	29 FS 休	30

6月

3日(日) (歩) 出かけよう(名称仮) カップヌードル博物館へ行こう 12時事務所集合 参加費 内部生100円 その他300円 事務所へ帰着(時間未定) 後は1時間以内で解散します。

7日(木) (歩) 学食・出かけよう 合同ミーティング 15時~16時 参加費無料

15日(金) (歩) ものづくりかふえ 15時~16時半 参加費無料 作成物持ち帰りたい方は実費必要 申込不要

17日(日) (歩) 体を動かそう(名称仮) ボウリング 11時事務所集合 MK ボウル上賀茂で昼食を取る予定です。参加費 内部生100円 その他300円 別途実費必要。ボウリング終了して事務所帰着後は1時間以内に解散します。

20日(水) (歩) 健康体操教室 14時半~15時半 参加費無料 申込不要

毎週月曜日と6月30日土曜日 FS 休
毎週日曜日 お休み(イベントのみ実施)

カレンダー表記の説明

レク日・・・フリースペース利用におけるTVゲーム・カルム・麻雀・ドンジャラなど音の大きく出るものを行える日(※カードゲーム・ボードゲームなどはフリースペースで原則いつでも可能です) イベントではありません。内部生以外の利用も可能ですが利用料 利用生500円 その他700円が必要です。6月は9日・14日・23日・28日です。

FS 休・・・居場所利用がお休みの日です。自習利用・居場所利用が原則できません。(FS 休日の中で本人希望で対応可能な日は別途費用がかかります。) 個別指導 学習サポート・家庭派遣(予約分)・面談(予約分)のみ実施します。

お休み・・・事務所全体がお休みです。家庭派遣・面談は事前予約で対応可能な場合のみ実施いたします。

(歩)・・・フリースクール活動です。(歩)と表記したものはどなたでも参加可能です。(参加費有料があります。事前申込原則必要)

注)「内部生」・・・前納型居場所利用・学習サポート利用

「利用生」・・・施設利用登録(3ヶ月以上の長期未利用者は登録継続意思の有無を確認しています。登録継続費用有料)をされている内部生以外

「その他」・・・上記以外の方

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。

E-mail の場合 soudan@ksce.jp、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中京区三条河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。

2018年5月14日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター